

教科（科目）	公民（公共）	単位数	2単位	学年（コース）	2年次 必履修
使用準教科書	『公共』（実教出版）				
副教材等	なし				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力を育成します。                  ②勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材を育成します。                  ③社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行います。                  ②二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践します。                  ③自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組みます。                  ④地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行います。</p>

### 2 学習目標

<p>人間と社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断するための手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
---

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を持ち、現代社会に生きる人間としての在り方生き方を探求する。</li> <li>・よりよい社会の形成に参画することに向け、現代社会の諸課題に対して、他者と協働して主題を追究したり解決したりする力を養う。</li> <li>・持続可能な社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神を持った自立した主体として、社会的な見方や考え方を総合的に働かせ、現代の諸課題を探究しようとする態度を養う。</li> </ul>
---

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>現代社会の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につけている。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。</p>

## 5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテストの分析</li> <li>・授業ノート・ワークシートの取り組み内容の確認・分析</li> <li>・小テスト・レポートなどの取り組み内容の確認・分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテストの分析</li> <li>・授業中の発言・発表や取り組みの観察</li> <li>・小テスト・レポートなどの取り組み内容の確認・分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に授業に取り組む姿勢や出席状況などの観察</li> <li>・授業ノート・ワークシートや課題などの取り組み内容や提出状況の確認・分析</li> </ul>

## 6 学習計画

月	単元名	学習活動（指導内容）	時間	評価の観点	評価方法
4	<p>【第1部】公共の扉 第1章 社会を作る私たち</p> <p>1) 青年期とは 2) 自己形成の課題(1) 3) 自己形成の課題(2) 4) 職業生活と社会参加 5) 伝統・文化と私たち</p> <p>第2章 人間としてよく生きる 1) 古代ギリシアの人間観</p>	<p>1) 「第二の誕生」とされる青年期が、人生においてどのような意義を持つのかを学ぶ。 2) 自己形成の課題について、自らの体験を通して学ぶ。 3) 自分らしさの確立について考察する。 4) 職業の意義と職業選択について学ぶ。社会参加とキャリアデザインについて考察する。 5) 日本の伝統や文化について、自然観や倫理観の形成や近代化などの視点から学ぶ</p> <p>1) ソクラテスなど古代ギリシア哲学者たちの人間観について学ぶ</p>	6	ab bc abc	<p>ノート・ワークシート (記述の確認・分析)</p> <p>振り返り (記述の点検/確認)</p> <p>小テスト・レポート (記述の点検/確認)</p>
5	<p>2) 科学と人間 3) 自由の実現 4) 社会をつくる人間</p> <p>第3章 他者とともに生きる 1) 人間と幸福 2) 公正な社会をめざして</p> <p>第4章 民主社会の倫理 1) 人間の尊厳と平等 2) 自由・権利と責任・義務</p>	<p>2) 近代ヨーロッパにおける科学的思考の確立や、帰納法と演繹法などについて学ぶ 3) カントやヘーゲルの思想から、自由の実現について学ぶ 4) サルトルなど現代の思想家の主張をもとに、より望ましい社会について考察する</p> <p>1) 功利主義と幸福の実現について学ぶ 2) ロールズやセンの主張をもとに、公正な社会とはどのような社会か考察する。</p> <p>1) 人間の尊厳と平等について、個人の尊重や、差別と偏見の克服などの観点から学ぶ 2) 自由と権利・責任と義務の関係性を考察する。</p>	7	ab bc abc	<p>ノート・ワークシート (記述の確認・分析)</p> <p>振り返り (記述の点検/確認)</p> <p>小テスト・レポート (記述の点検/確認)</p>
6	<p>第5章 民主国家における基本原理 1) 民主政治の成立 2) 民主政治の基本原理 3) 民主政治のしくみと課題 4) 世界の主な政治制度</p> <p>【第2部】1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 1) 日本国憲法の成立</p>	<p>1) 近代初頭ヨーロッパにおける市民革命の動きと民主政治の成立について学ぶ 2) 基本的人権や自由権・社会権、法の支配と立憲主義など民主政治の基本原理について、社会契約説との関係をとらえながら学ぶ 3) 民主政治のしくみと課題について考察する 4) 世界の主な政治制度について学ぶ</p> <p>1) 日本国憲法の成立について、明治憲法と比較しながら学ぶ</p>	5	ab bc abc	<p>ノート・ワークシート (記述の確認・分析)</p> <p>振り返り (記述の点検/確認)</p> <p>小テスト・レポート (記述の点検/確認)</p>
	前期中間考査		1	ab	ペーパーテスト

	2) 日本国憲法の基本的性格	2) 日本国憲法の基本原理について学ぶ		ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検／確認) 小テスト・レポート (記述の点検／確認)
7	3) 自由に生きる権利 4) 平等に生きる権利 5) 社会権と参政権・請求権 6) 新しい人権 7) 人権の広がり と 公共の福祉 8) 平和主義とわが国の安全 9) こんにちの防衛問題	3) 自由権の保障、精神・人身・経済活動の自由などについて学ぶ 4) 平等権の保障と、社会のなかのさまざまな差別について学ぶ 5) 社会権と参政権・請求権について学ぶ。 6) 社会の変化に伴い重視されるようになってきた新しい権利について考察する。 7) 社会生活と人権の関係や、公共の福祉について学ぶ 8) 日本に平和主義について、日米安保条約や自衛隊の経過をたどりながら学ぶ 9) 日本のこれからの安全保障体制について、自衛隊の海外派遣や有事法制の整備などから学ぶ		ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検／確認) 小テスト・レポート (記述の点検／確認)
9	第2章 日本の政治機構と政治参加 1) 政治機構と国会 2) 行政権と行政機能の拡大 3) 公正な裁判の保障 4) 地方自治と住民福祉 5) 政党政治 6) 選挙制度 7) 世論と政治参加	1) 国会の地位と役割、構成と権限、国会の運営について学ぶ 2) 内閣と議院内閣制、行政権の拡大、行政の民主化と行政改革について学ぶ 3) 公正な裁判の保障や、裁判員制度について学ぶ。 4) 地方自治や住民福祉について学び、地域社会の課題と取り組みについて考察する。 5) 日本における政党政治の歴史、特徴や課題について学ぶ。 6) 日本の選挙制度の特徴と課題について学ぶ。 7) 民主政治と世論、マスメディアとの関わりについて学ぶ。政治への参加について考察する。		ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検／確認) 小テスト・レポート (記述の点検／確認)
	前期期末考査		1	ab	ペーパーテスト
10	2 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 1) 経済主体と経済活動の意義 2) 経済社会の変容 3) 市場のしくみ 4) 市場の失敗 5) 現代の企業 6) 国民所得 7) 経済成長と国民の福祉	1) 経済主体と経済活動の意義について学ぶ。 2) 経済社会の変容を、資本主義と社会主義、グローバル化の進展などの視点から学ぶ。 3) 需要と供給など、市場メカニズムについて学ぶ。 4) 市場原理が有効に機能しない場合について学ぶ 5) 株式会社を中心とした企業のしくみやその変容及び社会的責任について学ぶ 6) 経済活動水準について、GDPなどの数値から学ぶ。 7) 経済成長と景気変動について学び、国民生活にどのような影響を及ぼすのかについて考察する。		ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検／確認) 小テスト・レポート (記述の点検／確認)
11	8) 金融の役割 9) 日本銀行の役割 10) 財政の役割と租税 11) 日本の財政の課題 第2章 日本経済の特質と国民生活 1) 戦後日本経済の成長と課題 2) 転機に立つ日本経済 3) 経済社会の変化と中小企業	8) 金融機関や金融市場の役割と国際化について学ぶ。 9) 中央銀行の働きと金融政策について学ぶ 10) 財政の役割と租税について学ぶ 11) 日本の財政が直面する課題について考察する。 1) 戦後の日本経済の復興と成長、その後の長期不況などについて学ぶ 2) 少子高齢化、格差・貧困などの要因が経済に与える影響や、これらの問題への対策について考察する。 3) 中小企業の現状や新しいビジネスモデルについて学ぶ。		ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検／確認) 小テスト・レポート (記述の点検／確認)
	後期中間考査		1	ab	ペーパーテスト

12	4) 農業と食料問題 5) 消費者問題 6) 公害の防止と環境保全 7) 労働問題と労働者の権利 8) こんにちの労働問題 9) 社会保障の役割	4) 日本の農業の現状と課題、食糧安全保障について考察する。 5) 契約の権利と責任、消費者行政などについて考察する。 6) 公害問題とその対策、循環型社会の形成について学ぶ 7) 労働問題と消費者の権利について学ぶ 8) 日本の雇用形態の特徴。変化や労働環境など、雇用や労働に関わる諸問題について考察する。 9) 社会保障制度の発展と日本における制度について学ぶ。	6	ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検/確認) 小テスト・レポート (記述の点検/確認)
1	10) 社会保障制度の課題  3 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題 1) 国際社会と国際法 2) 国際連合と国際協力 3) こんにちの国際政治 4) 人種・民族問題 5) 軍拡競争から軍縮へ 6) 国際平和と日本の役割	10) 日本の社会保障制度の課題について学ぶ  1) 国際政治や国際法の歩みや変化について学ぶ。 2) 国際連合のしくみと課題について学ぶ 3) 冷戦とその終結による国際社会の変化や影響について学ぶ 4) 人種・民族問題とその解決に向けた動きについて考察する。 5) 軍縮の現状と課題について学ぶ 6) 日本が国際社会で果たすべき役割について、戦後日本の国際外交の歩みをふまえて考察する	7	ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検/確認) 小テスト・レポート (記述の点検/確認)
2 ~ 3	第2章 国際経済の動向と課題  1) 貿易と国際収支 2) 外国為替市場のしくみ 3) 第二次世界大戦後の国際経済 4) 地域的経済統合の進展 5) 国際経済のつながりと課題 6) 発展途上国の諸課題と日本の役割	1) 貿易と国際収支について学ぶ 2) 外国為替市場と為替レート、円高・円安について学ぶ 3) 戦後の国際経済体制の変化と課題について学ぶ 4) 世界の地域的な経済統合や自由貿易協定と、日本の動向について学ぶ 5) 経済のグローバル化による社会の変化や課題について考察する。 6) 発展途上国の諸課題と日本の役割について、SDGsの実現に向けた取り組みと関連づけながら考察する。	6	ab bc abc	ノート・ワークシート (記述の確認・分析) 振り返り (記述の点検/確認) 小テスト・レポート (記述の点検/確認)
	後期期末考査		1	ab	ペーパーテスト

計 70 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・毎回の授業でノートやワークシート（プリント等）に取り組みます。單元ごとに学習内容の振り返りを行い、学んだことを確認したり、自分の考えを表現したりし、提出します。
- ・定期的に小テストを行い、内容のより深い理解・定着につなげます。
- ・上記のほか、授業態度や出席状況、課題等の提出状況など、3観点に基づきあらゆる取り組みを総合的に評価します。

## 8 担当者からの一言

「公共」は、現代社会の諸課題と向き合い、解決の方法やより良い社会のあり方について考えていく科目です。社会の一員としての自覚と、私たちが抱える様々な課題に対して高い関心を持ち、主体的に授業に参加することを期待しています。